



ハラスメント相談室長の横山教授

ハラスメント相談室

アカデミック・ハラスメントも含む包括的なハラスメント問題を扱う相談室を設置し、専門の相談員を配置する大学は全国でも少数であり、先駆的な取組として注目されています。専門の相談員が被害を受けた人と一緒に解決の道筋を考え、権利回復のための支援を行います。誰もが安心して

て学び、研究し、働くことができる大学」であることは、大学の存在価値を高める重要な要素であり、ハラスメント相談室は、ハラスメント・ゼロ・トレランス・キャンパスを目指しています。

ピア・サポート・ルーム

ピア・サポート・ルームとは、学生による学生のための相談室であり、国立大学では本学が初めて設置しました。半年間の研修（ピア・サポーター養成セミナー）を受け、大学の認定を受けた学生が、ピア・サポーターとして活動しています。履修相談から人間関係まで、同じ学生の立場で相談を受け付けます。専門家が常に待機、バックアップしており、相談内容により、学内外の専門機関を紹介します。



ボランティア活動室

広島大学では、身体等に障害のある学生が、就学および生活をしていく上での物理的、心理的、社会的な障壁を取り除くバリアフリー・キャンパスをめざした支援活動を続けています。なお、本学の「高等教育のユニバーサルデザイン化—総合大学における障害学生就学支援プログラム」は、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されています。このボランティア活動室は、障害のある学生の就学を学生が支援する活動の拠点であり、学生が自らの空いた時間を利用して支援に関わっています。



キャンパス散策（広島大学）

コミュニケーションマーク



広島大学は戦後の学制改革により、旧制の広島高等師範学校、広島文理科大学、広島工業専門学校、広島高等学校、広島女子高等師範学校、広島師範学校、広島青年師範学校、広島市立工業専門学校の8校を包括・併合して、昭和24（1949）年に新制国立大学の一つとして創設、その後、昭和28（1953）年に広島医科大学を併合しました。このように、伝統、校風、教育課程の異なる諸学校を基盤として形成された本学は、日本で最も包括校の多い大学であり、創設時は、学部や分校も県内6市町村11か所に分散していました。その後、キャンパスの整備統合を進め、広島市の東千田キャンパスに機能の集中を図りましたが、いわゆる「たこ足大学」の態を解消するには至らず、大学紛争を契機とする改革への本格的な取組の中で、諸改革を実現するための前提として統合移転が検討され、昭和48（1973）年、賀茂郡西条町（現在の東広島市）への統合移転を決定しました。この移転には、決定から実に22年の歳月を費やし、平成7（1995）年に完了しました。



東広島キャンパス（東広島市）

現在では、県内3キャンパスの10学部11研究科に、約1万5000人（うち留学生58か国746人）の学生が学んでいます。また、病院や研究所ならびに数多くの教育研究施設を擁する他、附属学校も幼稚園から高等学校まで11校設置しており、スケールの大きな総合大学として飛躍を続けています。

広島大学は、「自由で平和な一つの大学」という建学の精神と理念5原則に基づき、「発展を続ける偉大な大学」として飛躍するため、「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指します。広島大学はすでに総合研究大学としての条件を満たしているという共通認識の下に、本学を世界トップレベルの実績を備えた大学とするべく、コミュニケーションマークが表す「挑戦する意欲を持ち、行動を起こす」人材を育て、「広島大学の長期ビジョン」に従って、特色ある大学づくりを進めます。

コミュニケーションマーク

このマークは広島大学の頭文字「H・h」と「人」をモチーフに、人間が持つ行動的な特性を表現しようとした造形です。デザイン意図としては、行動的で活発な人材像を表しています。「自由で平和な一つの大学」という建学の精神にふさわしく、また、挑戦する意欲と行動力を併せ持つという理想の人材像を、活発で明るく、若々しい、行動力に富んだ人を造形イメージで表現しています。



霞キャンパス（広島市南区）



東千田キャンパス（広島市中区）

キャリアセンター

本学では、平成10年に全国の国立大学に先駆けて「学生就職センター」を設置、その後、平成16年に同センターを改組し、新たに「キャリアセンター」を設置しました。専任教員を配置するほか、企業の人事担当経験のあるOBを相談員として委嘱し、キャリアカウンセリング、進路相談、就職相談、就職活動指導などを実施しています。キャリアセンターでは、大学生活を通してどう生きるかを考えてもらうために進路・就職支援プログラムを「1年次からの進路（職業選択）支援」と、具体的な活動が始まる「3年次からの就職支援」の2つに分けて提供しています。



西条共同研修センター

この研修センターは、中国・四国地区国立大学法人の共同利用施設です。センターの収容人員は82名（最大100名まで可能）。隣接する西条総合運動場には、陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコートの設備があります。



学生宿舎

東広島キャンパス内に設置する「池の上学生宿舎」は定員620名、すべて洋式個室です。男子学生宿舎が8棟420名。女子学生宿舎が2棟200名。宿舎地域には、食堂や自販機コーナー、コインランドリーがあります。

大学会館

大学会館は地下1階、地上2階の建物で、集会室6、和室1、音楽鑑賞室1、売店、食堂、喫茶コーナーを設置しています。学生と教職員の親睦、学生の課外活動の発展に役立っています。

